

第4学年4組 国語科学習指導案

指導者 五十嵐 忍

1. 日時・場所 平成28年度6月15日(水) 第5校時 13:35～14:20 4年4組教室

2. 単元名 発見！4年4組のグッドポイント ～自分の考えを書いて伝えよう～

3. 単元のねらい

(1) 単元目標

段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように段落相互の関係などに注意したり、理由や事例を挙げたりして文章を書く。

(2) 指導事項：書くこと

イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。

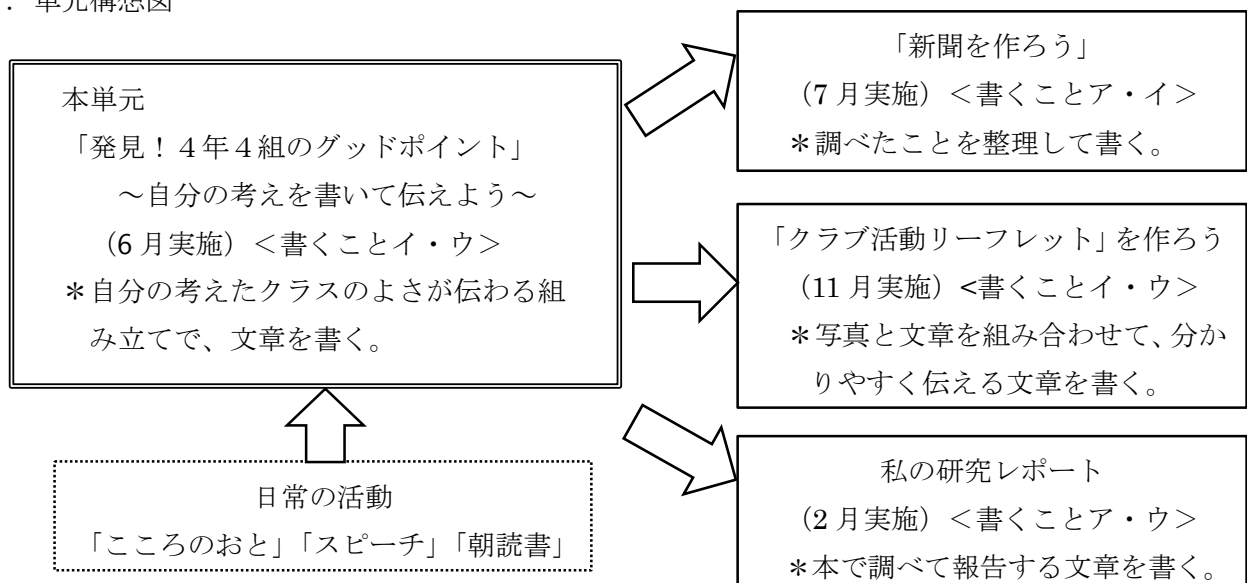
ウ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

(3) 言語活動 自分の考えたクラスのよさが伝わる組み立てで、文章を書く。

4. 評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えが明確になるよう段落相互の関係を意識して書こうとしている。</li> <li>自分の考えを相手に伝えるために、理由とそれに関する事例を書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えが明確になるよう段落相互の関係を意識して書いている。(イ)</li> <li>自分の考えを相手に伝えるために、理由とそれに関する事例を挙げて書いている。(ウ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>句読点を適切に打ったり、段落の始めなどの必要な箇所は行を改めたりして書いている。(イ(エ))</li> </ul>

5. 単元構想図



## 6. 単元設定の理由

### (1) 児童の実態

4月から、毎週月曜日の朝の時間を使って文章を書く活動を続けている。その時々テーマを決め、10分から15分で書き、友達と交換して読み合い、返事を書くという活動である。最初から、書くことに抵抗なく取り組むことができる児童がいる一方、ほとんど書くことができない児童も数人ではあるがいた。

5月には、「大きな力を出す」・「動いて、考えて、また動く」の説明文を学習した。「初め」・「中」・「終わり」の文の組み立てや、1番伝えたいことを「初め」と「終わり」に書く双括型の文章構成を理解した。「中」に書かれている「事実」と「解説」の違いを読みとるのが難しい児童もいた。しかし、「初め」と「終わり」に筆者の主張が繰り返し書かれていること、「中」はそれを裏付ける理由や、根拠となる事例があげられていることは理解することができた。

### (2) 学年のテーマ「友達の思いを受け止め、進んで自分の考えを伝えようとする子」に迫るために

#### 【研究内容1】主体的な学習を促すための言語活動の設定

##### ○組み立てを考えた文章

指導事項「書くこと イ」と「書くこと ウ」を受けて設定した。本単元は、意見文の入門として身近な話題について文章を書く学習である。話題について自分の考えを決め、その根拠となる理由やそれを裏付ける事例を集め、読み手に明確に伝わる組み立てを考えて文章を書いていく。

組み立てを考える際の手立てとして、自分の考えと、理由、それに関係する事例を、色を変えて付箋に書くようにする。また、理由や事例ごとに付箋を分けて書かせるようにする。そうすることで、組み立てを考える時に、取捨選択したり、並べ替えたりしながら構成しやすくなるのではないかと考えた。

##### ○発見！4年4組のグッドポイント

興味をもって活動できるように、単元の初めに、他のクラスのよさをそのクラスの担任が書いた文章を提示する。同じ4年生の他のクラスのよさを知ると同時に、自分達のクラスのよさを再確認してみようという意欲につながると考える。4・5月を振り返った学級活動を思い出し、自分達のクラスの実態を振り返るところからスタートする。そして、これから1年間過ごしていく自分たちのクラスを、いろいろな視点から見つめ直し、今のよさを伸ばしたり、友達が気がついたよさを共有してしたりしてほしいという願いから、「発見！4年4組のグッドポイント」という単元を設定した。

また、1人でクラスのよいところをなかなか考えることができない子どものために、単元に入る前の道徳の時間で、クラスビンゴに取り組んでおく。クラスのよさを事前にグループで考え、掲示しておくことで、1人で考えることが苦手な子どもへの支援になると考える。

##### ○教師のモデル文

文章を組み立てる時間には、モデル文として、担任が書いた2つの異なる組み立ての文章を提示する。担任がどのようにクラスのよさを感じているかを知ると同時に、組み立ての違う文章にふれることで、自分の考えを伝えるためには、どちらの組み立てがよいかを考えることにつながると考える。子どもたちが理由や事例を考える際にも、モデル文から、理由や事例を見本として提示し、活動を具体化していく。どの子ども学習の仕方を理解できるようにし、安心して活動に取り組むことができるようにしていきたいと考えた。

## ○交流

理由や事例、構成を考える際の交流では、交流の仕方に個人差やグループ差が生じると考えられる。しかし、友達と交流することで、自分の考えた理由と事例や構成の参考にしたり、友達の文章をよりよいのにしようとしたりする姿がみられるようになるのではないかと思う。

7時間目には、友達と読み合って、感想を伝え合う活動を行う。友達の文章を読んで、友達の書き方でいいと思う部分や、伝えたいことがよく伝わってくる部分を見つけるように伝えていきたい。互いを認めながら、相互に交流することで、「書くこと」の意欲向上につなげることができると考える。友達の意見文を読むことで、自分では気が付かなかったクラスによさに気が付き、クラス全体や友達に対する視野を広げてほしいと願う。

また、朝の時間には、学年全体で完成した文章を読み合う。違うクラスの文章を読むことで、自分のクラスの良さを再認識したり、他のクラスの良さを認めたりできるのではないかと考えた。そして、学年全体の仲が、より深まるのではないかと思う。

### 【研究内容2】確かな言葉の力を育むための指導と評価

#### ◆本単元で評価したい子どもの姿

< 2・3時間目 >

自分が考えたクラスによさを伝えるために、理由と事例をたくさん集める。理由と事例を区別しながら書くことができるように担任のモデル文を使ってやり方を説明する。また、次の時間、構成を考える際に作業しやすいように、理由や事例ごとに分けて付箋に書くようにさせていきたい。

たくさん見つかったよさの中で、私は〇〇について1番伝えたい。  
それは、〇〇という理由からだ。



〇〇というよさを伝えるために、クラスでのことを思い出して、具体的な例をたくさん探そう。



自分の考えを相手に伝えるために、理由とそれに関する事例を挙げようとしている。【関】

私が伝えたいクラスによさは〇〇だ。どうしてか  
というと、〇〇だからだ。そのよさをみんなに分  
かってもらうために、具体的な例を思い出しながら  
書くことができたよ。



自分の考えを相手に伝えるために、理由とそれに関する事例を挙げて書いている。【書ウ】

前時までに、付箋に書き出した「よさ」「理由」「事例」を「初め」「中」「終わり」に構成してから書く。自分の伝えたいことを伝えるには、どのような構成が良いかを考えて付箋を並べていく。構成したものを、教師のモデル文を参考にしながら書くことで、どの子ども文章を書き上げる満足感を味わうことができるようにしていきたい。そして、書き上げた自分の文章を読んでもらいたい、他の友達の文章を読みたいと思えるような活動になることを願っている。

どの事例をどの順番で説明すると  
1番伝えたいことが伝わるのかな。  
考えてみよう。



自分の考えが明確になるよう段落相互の関係を意識して書こうとしている。【関】

自分の考えを「初め」と「終わり」で繰り返し書くと、そこが大事だと分かりやすいから、両方に書こう。そして、「中」は理由と具体的な例を書いていこう。



「初め」に「理由は3つあります。」と書いて「中」で「1つ目は・・・、2つ目は・・・」と説明すると、読む人にも分かりやすいな。その組み立てで書こう。



自分の考えが明確になるよう段落相互の関係を意識して書いている。【書イ】

### 【研究内容3】日常的な言語活動の継続

4月から月曜日の朝の時間に、クラス全員が同じテーマについて書く活動を続けてきた。すぐに書くことが苦手な児童も取りかかりやすいように、金曜日に書くテーマを伝えて取り組んできた。しかし、書く内容や分量は個人差が大きく、最初は15分で1行や2行しか書くことができない児童もいた。毎週取り組むことで、少しずつではあるが、書くことに抵抗が少なくなってきた児童も見られるようになった。また、担任や友達からの返事を楽しく読む姿も見られるなど、自分が書いたものに対して、読んだ人が反応してくれる楽しさを味わってきているように感じる。

また、語彙を増やして欲しいという願いから、1人1冊国語辞典を用意して、日常的に辞書を引くようにしている。国語の授業だけでなく、どの教科でも使用するようにしている。授業をしている時に、分からない言葉があると、自分から辞書を引く姿が見られるようになってきている。日常的に語彙を増やしていくことで、豊かな言葉の使い手になってほしいと考えている。

7. 学習計画（7時間扱い）

次	時	評価規準【】 ☆評価方法	○学習活動	・指導上の留意点
学 活 の 時 間	六 月 の 初 め		○クラス目標を確認し、4月・5月のクラスの様子を振り返る学級会を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ていない所と良くなった所の両方を振り返るようにする。</li> <li>・よりよいクラスになるためにできることを考えるように声をかける。</li> </ul>
一	1		<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">グッドポイントを書いて伝えよう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学級会で話し合ったことを振り返る。</li> <li>○他のクラスの担任が書いた文章を読み、違うクラスのよさを知る。</li> <li>○既習の説明文との類似点を見つける。</li> <li>○自分達のクラスのよさを見つける。</li> <li>○学習の見通しをもつ。               <ol style="list-style-type: none"> <li>①クラスのよさを見つける。</li> <li>②自分が伝えたいよさの理由と事例を見つける。</li> <li>③組み立てを考える。</li> <li>④文章を書く。</li> <li>⑤クラスで交流する。</li> <li>⑥学年で交流する</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会で、クラス目標を振り返ったことを思い出すように声をかける。</li> <li>・他のクラスの担任が書いた文章を提示することで、自分達のクラスのよさを探す意欲を高められるようにする。</li> <li>・既習の説明文と組み立てが似ているとに気がつくように声をかける。</li> <li>・達成できていない部分もあるが、よさもたくさんあることに目を向けることができるように声をかける。</li> <li>・クラスのよさを樹形図に書くことで、いろいろな視点からよさを見つけることができるようにする。</li> <li>・よさの理由も樹形図に書いておき、次時の参考にできるようにする。</li> <li>・クラスのよさを見つけて、そのよさが伝わる組み立てで、文章を書くことを伝える。</li> <li>・活動の最後に、クラスと学年で交流することを伝える。</li> </ul>
二	2		<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分が伝えたいよさを見つけ、組み立てを考えて文章を書こう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分が見つけたクラスのよさを樹形図に書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時の樹形図を参考にしてもよいことを伝える。</li> </ul>

③ 本 時	<p>自分の考えを相手に伝えるために、理由とそれに関する事例を挙げて書こうとしている。</p> <p>【関】 ☆発言 ワークシート</p>	<p>○1番伝えたいよさを選び、選んだ理由を書く。</p> <p>○理由と関連する事例の書き方を知る。</p> <p>○理由と関連する事例を付箋に書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いつかない児童には、樹形図の理由から選んでもよいことを伝える。</li> <li>・モデル文を、短冊に書き直したものを使って、理由と事例の書き方を確認する。</li> <li>・理由と関連する事例を書く付箋は分かりやすいように、色を変える。 よさ：ピンク 理由：黄緑 事例：黄色</li> </ul>
4	<p>自分の考えを相手に伝えるために、理由とそれに関する事例を挙げて書いている。【書ウ】 ☆ワークシート</p> <p>自分の考えが明確になるよう段落相互の関係を意識して書こうとしている。</p> <p>【関】 ☆発言・ ワークシート</p>	<p>○書いた内容をグループで交流する。</p> <p>○担任が書いた、組み立ての違う2つのモデル文を読み、自分の意見がはっきりと伝わるような組み立てや書き方の工夫について話し合う。</p> <p>○書き出した付箋を使って、自分の考えがはっきりと伝わるように、文章の組み立てを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じようなよさを選んだ児童同士でグループを作り、理由や事例が分かりやすいかをお互いにアドバイスするように伝える。</li> <li>・教師のモデル文を拡大したものに、サイドラインを引いたり書き込んだりして、意見文を書くときの参考にできるようにする。</li> <li>・教師のモデル文の組み立て方を短冊で示す。</li> <li>・付箋の順番を入れ替えて考えてみることを伝える。</li> </ul>
5 6	<p>自分の考えが明確になるよう段落相互の関係を意識して書いている。【書イ】 ☆ワークシート</p> <p>句読点を適切に打ったり、段落の始めなどの必要な箇所は行を</p>	<p>○組み立てた内容をグループで交流する。</p> <p>○並び替えた付箋をもとに、自分の考えを伝える文章を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組み立てを考えたワークシートや、教師の意見文を参考にしながら書くように助言する。</li> <li>・真似したいと思った書き方や表現を積極的に取り入れるように声をかける。</li> <li>・より表現を工夫できる児童が参考にできるような文章を、ヒントコーナーに用意しておく。</li> </ul>

		改めたりして書いている。 【言】(イ(エ)) ☆ワークシート	○書いた文章を推敲する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き終わった児童から、グループの友達と読み合うことを伝える。</li> <li>誤字や脱字だけでなく、文章構成にも目を向けて読み合うように助言する。</li> </ul>
三	7	自分の考えを相手に伝えるために、段落相互の関係を意識したり、理由とそれに関する事例を挙げたりして書こうとしている。 【関】☆発言ワークシート	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">友達の文章を読んで、感想を伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章を読み合い、感想を伝え合う。</li> <li>○学習を振り返り、まとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスのよさが伝わったところや、文章構成のよさを付箋に書いて伝えられるように声をかける。</li> <li>文章を書くポイントを掲示して、交流の参考にする。</li> <li>全員分をコピーして本にして学年本棚に置いておき、自由に読むことができるようにする。</li> <li>次は、朝の時間を使って他のクラスの友達と読みあうことを伝える。</li> </ul>
朝の時間	十五分×四回		○学年で文章を読み合い、感想を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスの違う4人が同じグループに入って交流できるようにする。</li> <li>クラスのよさが伝わったところや、文章構成のよさを付箋に書いて伝えられるように声をかける。</li> <li>他のクラスのよさにふれることで、自分のクラスのよさを再認識したり、他のクラスのよさを認めたりできるように声をかける。</li> </ul>

8. 本時の展開 (3 / 7)

(1) 目標 自分の考えたクラスのよさを伝えるために、理由とそれに関する事例を挙げて書く。

(2) 展開

評価規準【】 ☆評価方法	学習活動	・指導上の留意点
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     自分が伝えたいよさの理由や具体的な例をたくさん見つけて書こう。                 </div>		
<p>自分の考えを相手に伝えるために、理由とそれに関する事例を書こうとしている。</p> <p>【関】 ☆発言 ワークシート</p> <p>自分の考えを相手に伝えるために、理由とそれに関する事例を挙げて書いている。</p> <p>【書ウ】 ☆ワークシート</p>	<p>1. 理由と関連する事例の書き方を知る。</p> <p>2. 理由と関連する事例を付箋に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気なクラスだと思う。理由は休み時間によく遊んでいるからだ。たくさんの人が、外でドッチボールやおにごっこで遊んでいる。</li> <li>・笑顔が多いクラスだと思う。理由はお楽しみ会のゲームを楽しんでいるからだ。フルーツバスケットをしている時、みんなで盛り上がっている。</li> <li>・楽しいクラスだと思う。給食時間のおしゃべりが楽しいからだ。グループの友達でゲームの話で盛り上がっている。</li> </ul> <p>3. 書いた内容をグループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例が具体的で、伝えたいことが分かりやすかった。</li> <li>・もう少し、例を増やしたほうが伝わると思う。</li> <li>・伝えたいことが似ていても、違う理由を書いているおもしろかった。</li> </ul> <p>4. 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が考えたクラスのよさと、その理由や事例を短冊に書いておき、黒板で実際に説明することで、理由と事例の書き方を確認する。</li> <li>・理由と関連する事例を書く付箋は分かりやすいように、色を変える。 よさ：ピンク 理由：黄緑 事例：黄色</li> <li>・あまり事例を見つけられない児童には、前時のワークシートや、1時の樹形図を振り返ってみることを伝える。</li> <li>・事例は具体的な場面を思い出して書くといいことを助言する。</li> <li>・同じようなよさを選んだ児童でグループを作ることで、お互いにアドバイスしやすいようにする。</li> <li>・付箋が少ない児童には、友だちの付箋を参考にしてもよいことを助言する。</li> </ul>